



サルビア

令和3年6月25日

第30号

4年生 車椅子体験学習 6月23日 ～総合的な学習の時間～

「総合的な学習の時間『福祉について考えよう』の一環として、4年生が「車椅子体験学習」に取り組みました。伊勢崎市社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターよりスタッフ及びボランティアの方々7名におこしいただき、車椅子の仕組みや介助するときの注意点などご指導いただきました。



自己紹介は、目線の高さに気をつけます。お互いに「よろしくをお願いします。」しゃがんであいさつをすると目を合わせやすくなりますね。

安全のため、止まっているときはブレーキをかけます。「前に進みます」とひと声かけると安心してもらえます。



段差やゆるやかなスロープは後ろ向きにおりていきます。ここでも「段差があります。少しガタンとしますよ」等、声をかけます。



「相手に怪我をさせないように気をつけた。とても緊張した」と介助の体験をしてすぐに子どもがつぶやいていました。私もかつて大人向けの講習を受けたときに同様の感想をもちました。車椅子に乗って介助される側を体験したとき、ほんの小さな段差でも体に受ける衝撃が大きいことに驚きました。また、自分で歩くスピードと車椅子に乗って感じるスピードではずいぶん違うことにも気づきました。

人の役に立つためには、正しい知識が必要になることもあります。車椅子を押してみてもわかること、車椅子に乗ってみてもわかること、この体験を通して子どもたちはどんなことに気づいたのでしょうか。

ありがとうございます。

地域にお住まいの小保方様より子ども向けの蔵書を寄付していただきました。お子さんが本校の卒業生だそうです。図書室や学級文庫で活用させていただきます。ありがとうございました。

